

雨水東京国際会議の報告

関西雨水市民の会

2005年8月1日(月)～7日(日)、東京都墨田区にて「つなごう世界、救おうアジアの水危機」をテーマに雨水東京国際会議が開催され、水野会長以下5人の会員が参加しました。

アジア各国、日本全国から多くの雨水に感心のある方が集結し、「雨水」を熱く語り合いました。

(大阪府からも「おおさかレインボウぷるじえくと」のポスターを作成し、柳川氏、足立氏がポスターセッションに参加されました。)

中でも私達の関心事は、6日に開催された以下の8つの分科会でした。



- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1. 安全な飲み水としての雨水 | 2. 雨水の貯留・浸透と活用技術 |
| 3. 雨を捨てない保水型都市へ | 4. 雨の環境学習 ～ 雨水に学ぼう～ |
| 5. 雨水を活かした緑豊かなまちづくり | 6. 水循環を活かす農業 ～ 棚田やため池に学ぶ～ |
| 7. 緑のダム ～ 雨水利用から考える水源の自立～ | 8. これからのアジアの雨 ～ その量と質はどうなるか～ |

(我々は5、7の実行委員として取りまとめに参加しました)

各々の分科会が50以上の参加者で盛り上がり、最終のとりまとめとして、村瀬誠事務局長と10人の若人が「雨水東京国際会議 東京宣言」(別紙参照)を声高らかに読み上げ、幕となりました。

今、私はこの会場で宣言文を共に読み上げたことに感動しています。

「雨水」のもつ活力を再認識し、今後も多くの仲間と「雨水市民」として行動したいと思います。



雨水に感謝！